

ボツリヌス治療ご存知ですか

医療法人啓仁会 吉祥寺南病院 (東京都武蔵野市)



医療法人啓仁会 吉祥寺南病院
名誉院長 榊原 常緑

ボツリヌス治療ってなんですか？

ボツリヌス治療とは、ボツリヌス菌が産生する毒素を危険のない状態に製剤化した注射液を患部に投与するもので、毒素のもつ強力な筋弛緩作用を利用しますが安全で簡単な治療法です。

これまで日本では、[片側の顔面痙攣][眼瞼の痙攣][斜頸]に対してのみ保険が適用されていましたが、他の様々な疾患にも大きな効果を発揮することから、医療関係者の間では、以前から脳卒中をはじめとする脳疾患の後遺症に対しても、強く保険の使用認可が求められてきました。

欧米では、既に広く行われており、その効果は実証済みです。そしてこの度、ようやく日本でも、脳や脊髄の病気で片麻痺などの後遺症が残り、手や足のつっぱりや変形(痙縮といいます)で苦しんでいる人のために、ボツリヌス治療が保険で行えるようになりました。特に日常生活やリハビリテーションに支障を来している人には、効果的な治療法です。

ちなみに美容目的の[シワのばし][リフトアップ]などにも有効で盛んにあこなわれていますが、保険適用外です。

どのような病気が保険の対象ですか？

新たに認可された疾患

- 1** 脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)、脳腫瘍、頭部外傷、脊椎脊柱疾患などによる後遺症
(右の絵をご覧ください)

以前から保険診療が行える疾患

- 2** 片側顔面痙攣 **3** 眼瞼痙攣 **4** 斜頸
5 小児脳性麻痺にともなう尖足

吉祥寺南病院のボツリヌス治療!

2010年に、はじめて日本で上下肢の痙縮に対するボツリヌス治療が追加保険適用になってから、当院ではすぐにこの方法を取り入れました。

特に、これまで行ってきた片側顔面痙攣と、新たに開始した尖足、上肢屈曲は対象患者さんが多く、今までに治療した症例数が吉祥寺南病院は、都内で最も多い施設の一つになっています。

発症から約6ヶ月以内の患者さんが対象とされていますが、私共の経験からすればかなり時間の経過した病態にも有効で、今後できる限り多くの患者さんの要望に応じて行こうと考えています。

治療は簡便で外来で約30分で終了します。極めて細い注射針で注入するので特に麻酔も必要ありません。

当院でのボツリヌス治療をご希望の方は治療の説明と薬剤を取り寄せるため、前もって、一度外来を受診していただきます。当院窓口でご相談下さい。

①片側顔面痙攣・眼瞼痙攣

顔の半分や、まぶたがピクピク痙攣して止めようとしても止まらない。これまで最も多くボツリヌス治療があこなわれている疾患です。

②斜頸

首が横に曲がったままで真っすぐにならない。

上肢の痙縮

①肘関節屈曲

ひじが曲がったまま伸びない。こわばりやつっぱり感がある。

②手関節の屈曲

手首が曲がったまま伸ばせない。袖に手を通すのが難しい。

③にぎりこぶし状変形

人差し指から小指までの指が曲がり伸ばせず、手のひらの中で丸まっている。

④掌中への拇指屈曲

親指が曲がったままで伸ばせない。物がつまめない。

下肢の痙縮

①尖足・内反尖足

足首が曲がったままで、足の先がとがったようになり、踵がつかない。下肢の装具がつけられない、最も多いタイプの変形。

②拇趾過伸展

足の親指が伸びたまま曲がらない。靴が履けない。

